

カナザワ ケンチク サンポ vol.3

コリンボウ・ナガマチ・チュウオウドオリマチ
カタマチ・シラギクチヨウ・センニチマチ

金沢建築散歩 香林坊・長町・中央通町・片町・白菊町・千日町



KANAZAWA STUDENT COMMUNITY CIVIC CENTER



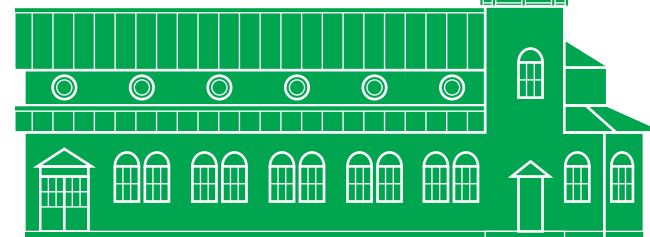
NOMURA SAMURAI FAMILY RESIDENCE



SAIGAWA BRIDGE



MURO SAISEI KINENKAN MUSEUM



CHURCH OF KANAZAWA SEIREI HOSPITAL



A マックス・ヒンデル
Max Hindel

スイス人建築家の作品

15年間日本に滞在し、各地で教会建築を手掛けたスイス人建築家マックス・ヒンデルによるもの。昭和6年竣工。来日前はオーストリアのウィーンやチロル地方で設計活動を行っていたため、本建築の鐘楼には尖塔型の屋根がかかるなど、チロル風の特徴が見られます。

カナザワ セイレイビョウイン セイドウ

金沢聖霊病院聖堂

CHURCH OF KANAZAWA
SEIREI HOSPITAL

日本の感性×西洋の感性



C 三廊式バシリカ平面
Basilica

堂内は三つの廊が並ぶ三廊式バシリカ平面

堂内は三つの廊が並ぶ三廊式バシリカ平面になっていて、左右の側廊が正面の主祭壇に続く身廊を挟み込んでいます。側廊上部には石造の形態を木造で再現した交差ヴォールトを見ることが

出来ます。身廊上部には大壁造りとした横断アーチが緩やかに架かり、奥行きのある空間を繋ぎます。身廊部は現在半分が畳敷き、半分が椅子式と



D 列柱
Colonnaded

金沢の伝統色使用

ヴォールトとアーチを受ける列柱は、ロマネスク様式特有のブロック型柱頭です。それを金沢の伝統工芸である黒漆塗り仕上げしています。施工当時は真っ白であった内装も、昭和15年の

壁面改修の際にアーチ部分を加賀群青と金色でク様式特有のブロック型柱頭です。それを金沢の伝統工芸である黒漆塗り仕上げしています。施工当時は真っ白であった内装も、昭和15年の



B ステンドグラス
Stained Glass

まちに馴染んでいたのかも

木造平屋建て建築であるものの、高さを低く見せるために二層に分けたデザイン。側面上層には円形窓を、下層には二対の円形アーチの滑り出し窓を配置。どちらにもステンドグラスがはめられており、柔らかな印象を与えます。白い外壁に、隅角部の付柱や窓框を焦げ茶色に塗りメリハリをつけています。創建時は緑色の外壁だったが、当時は緑色と焦げ茶色の組み合わせが、長町の土壌の連なる風景に馴染んでいたのかもかもしれません。

ブケヤツキアト ノムラケ

PICK UP
KENCHIKU
02

武家屋敷跡 野村家

NOMURA SAMURAI FAMILY RESIDENCE

米庭園誌日本庭園ランキング3位の名園



A 野村家

Nomura Samurai Family Residence

加賀藩士・野村伝兵衛信貞の屋敷跡

敷地は代々前田家の奉行職を歴任してきた加賀藩士・野村伝兵衛信貞の屋敷跡。武家制度の解体を受け、庭園の一部を残して館は取払われまし



B 日本庭園
Japanese Garden

有無を言わせぬ密な日本庭園の世界

高低差のある園内には、一見過剰すぎる程の樹木、灯籠、庭石、曲水が見事なバランスで配置され、ぐっと引き込まれる密な世界が広がります。錦鯉が住まう曲水が濡れ縁下まで続き、苔むした大小様々な名石、奇岩が目線と奥へと誘い、狭さ



C 樹齢400年のヤマモモ
Yamamomo of 400 years old

野村伝兵衛の郷愁

尾張出身であった野村伝兵衛は、郷愁から尾張の樹木を庭園に取り入れようと色々試みますが、気候の違いから根付くものは多くありませんでした。ヤマモモは、うまく根付いた尾張ゆかりの樹木のひとつで、樹齢は400年を越えています。



D 上段の間と謁見の間
Jodan-no-ma Ekkenn-no-ma

紫裡・黒裡の間

藩主を招いた上段の間は、当時の高級輸入材であった紫裡や黒裡に緻密な細工を加えた木材をふんだんに使用。天井は総檜づくりという格調高い作り。また襖絵は、狩野派の最高峰佐々木宗景が描いた山水画と、大聖寺藩士の山口梅園作の大黒な白い牡丹が印象的です。



A 旧佐野家
Former Sano House

大正5年の建築をリノベーション

カナザワ ガクセイノマチ シミンコウリュウカン

金沢学生のまち市民交流館

KANAZAWA STUDENT COMMUNITY
CIVIC CENTER

資産家・旧佐野家の邸宅をリノベーション！
学生と市民のまちづくり活動の場



B ふすま絵
Fusuma-e Painting

嗜好にとんだデザイン

本邸宅は故・佐野久太郎氏の嗜好に合わせて建築された特徴的な構成になっています。ただの住まいではなく、遊びが盛り込まれた普請道楽の邸宅です。2階10畳のノ間の襖には、雪景色の松の



C アズマダチの外観
Azumadachi

近代和風住宅

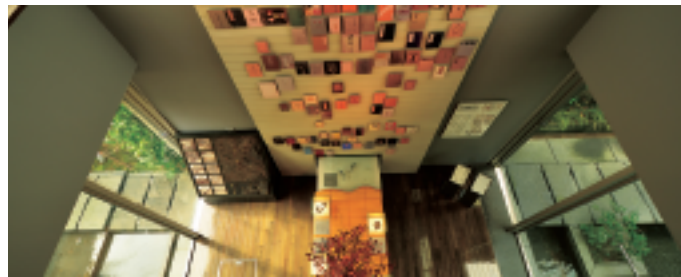
主屋は切妻造葺瓦葺き妻入りで表門と築地塀を構え、土蔵を備えた高きアズマダチの外観は、周囲が藩政期に武士居住地であったことを彷彿とさせます。妻面の束、貫を表としたアズマダチの壁には黒漆喰を塗り、外壁は押縁下見張り。2階部分には出窓を設け、金沢特有の細い出格子である木虫籠(キムスコ)が付けられ、近代和風住宅となっています。



D 交流ホール
Hall

旧料亭かわ新の部材を利用

佐野家横の鉄骨造の交流ホールの中には81畳もの大広間。"旧料亭かわ新"の取り壊しの際に、2階の大広間の部材を金沢市が保管。それを利用して、元の3分の2サイズで再現活用された、近代和風住宅となっています。



A 誕生の地
Place of the birth

ふるさととは遠きにありて思ふもの

「ふるさととは遠きにありて思ふもの、そして悲しくうたふもの」で有名な詩人・小説家室生犀星の記念館。敷地は犀星の生家跡であり、生後もまな



B 空間構成
Space Composition

町家的な空間構成

町家独特の「ミセ・坪庭・チャノマ・座敷・裏庭」の構成に、明暗のリズムを取り入れています。自然光の多い開放的な空間は創作プロジェクトの展示スペースとなっており、犀星の見ていた原風景を思い起こさせます。生原稿等の展示物は、蔵に見立てた、敷地奥の太陽光が入らない展示スペースに。



C 庭
Garden

2つの水盤

2つの水盤は床下で繋がっており、裏庭から中庭へと水が流れ込みます。水の揺らめきに太陽が反射し白くきらめく様子は雄大な犀川を模しています。庭づくりが趣味の犀星のコレクションである、つくばいや石塔を中心に庭は設計されており、犀星の匂にも登場する杏の木が植えられています。

ムロオサイセイ キネンカン

PICK UP
KENCHIKU
04

室生犀星記念館

MURO SAISEI KINENKAN MUSEUM

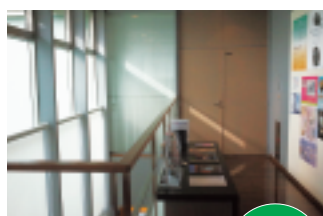
室生犀星の故郷の原風景



D ファサード
Facade

現代材料で作る「和」

正面ファサードのガラス面には、ガラス繊維を挟み込み、障子のような仕上がり。アルミ材屋根とし、中庭の隣地壁面には格子代わりに、ファイバーグレーチングを使用し、伝統的なものを現代の材料を使って表現をしています。



E 特別な空間
Special Room

犀星ファンの集い

2階の一角には、通常は入ることの出来ない、会議や講座に使用する研修スペースが。犀星の魅力により多くの人に、より深く知ってもらうためには欠かせない作戦部屋です。

これであなとも長町通！

ナガマチの レキンをマナブ

ナガマチの
成り立ちを知る

長町は藩政期に武士の邸宅が並ぶ居住区でした。現在も武家家の名残として、敷地正面や玄関脇に見越しの松を有する家も多く、地区内に残る庭園と庭木によって、緑豊かなまちなみを生み出しています。連続する土塀、門、伝統的な建造物、庭園、大野庄用水という歴史ある景観が色濃く残る町です。



A 景観地区
Historic Area

夜間景観整備計画の取り組みも

市街地の良好な景観の形成を図るため、景観法に基づいて、都市計画として定める地区のことで、金沢市は長町武家屋敷跡周辺地区を北陸初の景観地区に指定しました。また長町



B 大野庄用水
Onosho-yousui

金沢でもっとも長い歴史をもつ用水

1590年頃につくられた金沢で最も長い歴史をもつ用水です。灌漑、物資運搬、防火、防衛、融雪などの多目的用水でしたが、金石港から金沢城築城用の大量の木材を運ぶためにも使



C 鞍月用水
Kuratsuki-yosui

金沢製糸場の原動力として利用

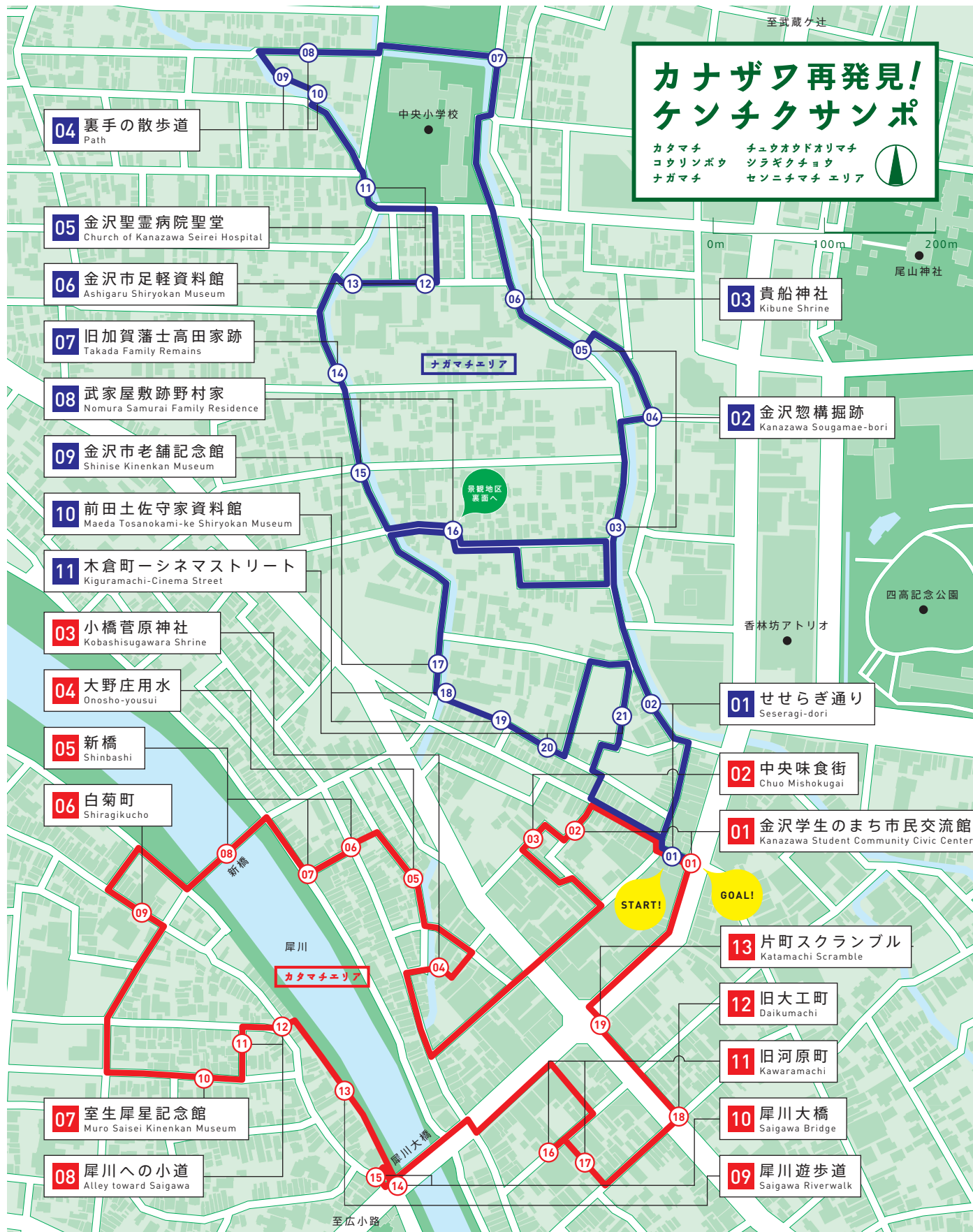
1600年代前半に水力を利用して菜種油を採る目的で灌漑用に造られ、一部区間は金沢城の外堀である「西外堀構」に利用されました。また明治・大正期に中央小学校付近では、金沢製糸場の原動力として利用されていました。



D 金沢惣構堀
Kanazawa Sougamae-bori

内・外二重の惣構堀

「惣構」とは、城下町を囲い込んだ堀や土井などのことで、安土桃山・江戸時代初めに、日本各地で築かれました。金沢城には内・外二重の惣構がつくれ、長町付近ではせせらぎ通りに沿って「西外堀構」を見ることができます。



ナガマチ・カタマチをあるいてみよう!

KANAZAWA KENCHIKU SANPO ORIGINAL COURSES

金沢の始まりとともに流れ続けてきた用水。サムライも毎日あるいた長町の小道。多様な歴史と建築が混在する片町界隈。時代は移れど先人の描いた景観はいまも変わらず人々の生活に浸透しています。

金沢工業大学 宮下研究室の学生が取材!

サンゴクカンノメマス 01-21 ナガマチエリア 徒歩約75分 01-20 カタマチエリア 徒歩約60分



01 せせらぎ通り Sese-ragi-dori

さぁサンポスタート。

①大通りから一本裏手に入って頂いて、さぁサンポスタート。道は狭いが車多め、ご注意。
 ②歴史探索も自然も買物もここでゼーンぶ楽しめちゃうなんて、なんて魅力的なストリート。



03 貴船神社 Kibune Shrine

用水の向こう側に

③用水にせり出した大きな松の奥にホラ、鳥居が。縁切りを望む者は川の中を渡り、縁を結ぶ望む者は神社の後ろからというなかなかハードな参り。④働く用水、飲む用水。



06 金沢市足軽資料館 Ashigaru Shiryokan Museum

低身分武士の家

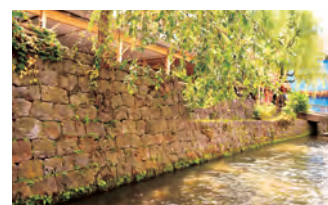
③ 飛脚も参勤交代もこなしした低身分武士の家は庭付き一戸建てでした。



07 旧加賀藩士高田家跡 Takada Family Remains

池泉式回遊庭園

④ 昼間しか開かない門の中には藩政時代の池泉式回遊庭園の世界が詰め込まれています。



02 金沢惣構堀跡 Kanazawa Sougamae-bori

道路下にまで用水が!

⑤きれいに積まれている石は金沢惣構堀の一部。どこどこが繋がっているのか、目で追いつながら散策すると、金沢の中心(金沢城)が見えてくるかも! ⑥気にせず歩けば気づかない、ゆっくり歩けば見つかる噂のお店。⑦あ、道路の下まで用水が広がっていることに気づきましたか? 反対側から見ると新しい発見。



04 裏手の遊歩道 Path

駐車場には昔何が建っていたのだろう

⑧ あったはずの建物が消えて、隠れていた向こう側のお家のお庭が軒並みごんごんに。⑨ 堀と用水の間の遊歩道。入口と出口にかかっている短い橋にもすべてお名前付いています。⑩ 用水の上に乗って攻めているデッキはこの場所にあるお家の特権! 用水の音と風を感じスイカでも...なんて想像水辺ライフ。



08 武家屋敷跡野村家 Nomura Samurai Family Residence

ああ、日本庭園ってこういうこと

⑪ さぁあ立って眺めてないで縁側低目線正座スタイルでどうぞご覧ください。「ああ、日本庭園ってこういうことなのね」そう感じさせてくれる野村家の庭園は米国家庭園誌で3位に選ばれた実力派。⑫ 土塀が続く石畳の小路は長町のアイデンティティ。敵が攻めつらいように道をカギ型に折れ曲げてあります。冬の薦掛けも要チェック。詳しくは裏面を!



09 金沢市老舗記念館 Shinise Kinenkan Museum

老舗のみせの間に釘付け

⑬ ガラス戸に顔をくっつけ覗きますと、100年をこえて愛されてきた老舗のみせの間に目は釘付け。



10 前田土佐家資料館 Maeda Tosanokami-ke Shiryokan Museum

門をくり「サラバ長町武士の世界」

⑭ 加賀藩前田家重臣が所蔵した貴重な史料展示中。⑮ 門をくり「サラバ長町武士の世界」。垣根の向こうの猫道にお見送りされ、タイムワープ。



11 木倉町-シネマストリート Kiguramachi-Cinema Street

名称だけが残る映画街

⑯ おばちゃんとおっちゃんを探せば、ああ納得。⑳ 広がる駐車場の昔の姿は10巻もの映画館がひしめくシネマ街。00年代後半には全て消滅。残ったものはシネマストリートの名称のみ。



01 金沢学生のまち市民交流館 Kanazawa Student Community Civic Center

切妻造りの大屋根

⑲ さぁサンポスタート。⑳ 飲食店が立ち並ぶ街の中に突如あらわれるのは土蔵付きのアズマダ



02 中央味食街 Chuo Mishokugai

怪しさ満点、楽しさ満点、味も満点の別

⑳ まるで映画のセットのような平屋建てバラック小屋の飲食街、6~7人で満席の店内に脚を踏み入れれば怪しさ満点、楽しさ満点、味も満点の別世界。ディープな金沢に心して臨むべし。



03 小橋菅原神社 Kobashisugawara Shrine

何でもOK! 神様に任せなさい!

㉑ 片町の裏通り、鳥居とビル下の通路を抜ける。朱塗りの艶やかな社殿が! 何とも奇妙なアクセス神社となりました。天満宮と睡音社、金毘羅宮の三社と一緒に祀られているため、合格祈願・金運向上・商売繁盛などなど何でもOK! 神様に任せなさい! という頼もしさです。



04 大野庄用水 Onosho-yousui

用水とお別れ

㉒ 先ほどの武家屋敷へと続く大野庄用水では時折ホテルも姿を見せるとか。せせらぎ通りに流れていた鞍月用水とはまた別の用水となっていますので、ご注意を。さて今まで一緒に歩いてきた用水とはY字でお別れです。さて住宅街を横切りますので、お静かにお進みください。



06 白菊町 Shiragikucho

金沢和傘のお店も

㉓ 金沢でただ一人の和傘職人が営む和傘店。一生ものの金沢和傘で町を歩けば気分は金沢美人。



07 室生犀星記念館 Muro Saisei Kinenkan Museum

ふるさととは遠きにありて思ふもの

㉔ 「ふるさととは遠きにありて思ふもの」詩人であり小説家でもある室生犀星の記念館。犀星



08 屏川への小道 Alley toward Saigawa

向こう側の景色につきすすむべし

㉕ 大人が列で進むのが丁度の道は、その奥に住む住人専用小道。周囲の道がアスファルトになると、ありのままの姿で頑張り中。㉖ さて次は右に進む? 左に進む? いや、まっすぐ! よく見ると駐車場の横に下の歩道へと降りれる階段が、向こう側の景色に突き進むべし。



10 屏川大橋 Saigawa Bridge

屏川大橋のCOOLな一面

㉗ 屏川大橋下は無機質な配管と意外にも静かな空間。いつも見ているアイツのクールな一面。㉘ 橋の上へと続く階段、見つけることができましたか? ゆっくり気を付けて階段を上ると交番の横にごんごんには。



12 旧大工町 Daikumachi

藩の大工衆が住んだ町

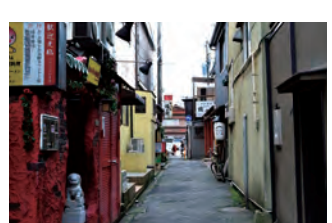
㉙ 金沢城までもが燃えた寛永の大火後、拝領地を受けて藩の大工衆が住んだことからついた町名大工町。つらつら連なる長屋の形状を思い起こす、細長い町となっています。



09 屏川遊歩道 Saigawa Riverwalk

毎日の散歩道

㉚ 屏川橋の遊歩道には、しっかり手入れされた花壇が。子供からかまで気持ちよく歩ける歩道は、地元住人の毎日の散歩道。



11 旧河原町 Kawaramachi

屏川の河原が広がってありました

㉛ 実は昔はこの辺りまで屏川の河原が広がってあったのがここ。旧河原町。川沿いまでぎゅぎゅに建物が建ち並んでいます。㉜ 細長い路地にもお店がキッチリ並んで自己主張。巷で噂のやっほーの声も聞こえてくるかも?



13 片町スクランブル Katamachi Scramble

北陸地方最大? 金沢のスクランブル交差点

㉝ 歩けば何かある、片町と真ん中飲食街は夜が本業。深夜から朝方まで大勢の人々が行き交います。北陸地方最大のスクランブル交差点といえはここ! 記念にスクランブルってください。



05 金沢聖霊病院聖堂 Church of Kanazawa Seirei Hospital

金沢らしい木造版ロマネスク教会

① 用水の音、木々の葉擦れ、柔らかな木漏れ日、野球少年と黄色の帽子の小学生、そんな通学路。② 金沢らしい木造版ロマネスク教会。昭和6年にスイス人建築家により建てられました。



05 新橋 Shinbashi

生活を隔てる屏川

㉞ 肩をすぼめスススッと抜けましょう。㉟ 突き当たり屏川、川沿いご飯屋さんがぎゅぎゅ。夜にほろ酔い気分ですくくと気持ちのよい道。㊱ 屏川大橋方向をご覧ください。左手には高いビル群、右手には低い住宅地、屏川が生活を隔てています。



01 金沢学生のまち市民交流館 Kanazawa Student Community Civic Center

① 用水の音、木々の葉擦れ、柔らかな木漏れ日、野球少年と黄色の帽子の小学生、そんな通学路。② 金沢らしい木造版ロマネスク教会。昭和6年にスイス人建築家により建てられました。